

ホスピタリティオペレーションズ

運営施設100ホテルへの第一歩。

11月1日、スマイルホテル日本橋三越前と巣鴨が  
同時フランチャイズ加盟によるリブランドオープン



「ダブルルーム」14.5㎡。客室数9室。ベッド幅は140cm。月にベッドはデュベスタイルに変更予定



「ツインルーム」18㎡。客室数は2室。ベッド幅は110cmで、2台設置



東京メトロ銀座線、東京メトロ半蔵門線「三越前駅」から徒歩2分の距離にある「スマイルホテル日本橋三越前」。JR総武線、東京メトロ東西線、都営地下鉄浅草線の最寄り駅から徒歩10分以内でもある。駐車場スペースも完備



「スマイルホテル日本橋三越前」でマニュアル貸与式を行ない、握手をする株式会社ホスピタリティオペレーションズの田中章生代表取締役(写真左)と株式会社鹿島建設の鈴木健史代表取締役社長(写真右)



1階にあるレンタル会議室。基本料金(3時間)は2万6250円(税込み)。延長(1時間)は、6300円(税込み)。年中無休で12時～22時まで利用可能

「2016年内にスマイルホテルの運営施設を100ホテルに拡大・加速を目指す」と発表した、ホスピタリティオペレーションズ(以下、HO)。その第一歩として、鴨川グランドホテルが経営する「鴨川イン日本橋」と「鴨川イン巣鴨」の2ホテルとフランチャイズ契約し、11月1日から名称変更。「スマイルホテル日本橋三越前」「スマイルホテル巣鴨」として、同時リブランドオープンした。運営は鴨川グランドホテルが行なう。

2ホテルはここ数年、リーマンショックや東日本大震災の影響から稼働率が低下し、営業力の強化策を模索していた。そこで鴨川グランドホテルは、ホテル運営事業を行なうHOへのFC加盟を検討、販売力強化と収益力の回復に直結することから、締結に至ったという。

リブランドオープン前から、HOが2ホテルを指導。その結果、日本橋三越前は約1カ月で大きな成果が表れたという。

「日本橋三越前はビジネス、レジャー需要が高く、最寄駅から近い好立地です。ウェブサイトを使った販売チャンネルを強化し、集客に注力しました。ADRは以前とそれほど変わっていませんが、稼働率は指導前後で20ポイントアップしました」(HOの松原努運営課長)。

客室は全室に空気清浄機と加湿器を設置した。またベッドは来年1月をめぐりに、デュベスタイルに変更する。

なお、2ホテルとも初年度は、客室稼働率は90%、ADRは6000円台を目標に掲げている。

取材・本誌 長谷川耕平

DATA

スマイルホテル日本橋三越前  
所在地=東京都中央区日本橋本町1-4-14 / ☎03・3231・1070 / アクセス=東京メトロ銀座線、東京メトロ半蔵門線「三越前駅」から徒歩2分 / 開業年月=2012年11月1日(リブランドオープン) / 規模=地上10階・地下1階建て / 駐車場=あり / 面積=敷地面積512.58㎡、延べ床面積3097.85㎡ / 客室数=164室:シングル153室(12㎡)、ダブル9室(14.5㎡)、ツイン2室(18㎡) / 客室料金=シングル8400円~(1名1室)、ダブル9030円~(1名1室)、ツイン9975円~(1名1室) / 館内設備=荷物あずかりサービス、ノートPC(無料)、スポンプレッサー、ドリンクサービス、無線LAN設備、駐車場、自動販売機(4階、8階)、コインランドリー(8階)、レンタル会議室(1階) / 設計=棟長岡設計 / 施工=株式会社鹿島建設 / 運営=株式会社鴨川グランドホテル